

#### 413) メロンパン

新宿の高野にはメロンパン行列という毎日の行事があります。午前 10 時と、午後 4 時と、6 時半と一日に 3 回、特性のメロンパンを販売するのでありまして、このメロンパンは本物のメロンが時には果肉のまま入っており、その香ばしさといい、その甘味といい、とにかく毎日数百人の行列ができるほどの人気ぶりなのであります。その日はたまたま新宿の得意先に用事があって、昼過ぎに出かけたのですが、打ち合わせが終わったのが、3 時半だったので同僚と共に、この行列に加わることにしたのであります。最後尾には親切にも『メロンパン最後尾』の立て札が立ち、係の人が「まだ大丈夫ですので、ここにお並びください」と案内してくれる。それからしばらくすると、籠を持ったかなり美形の女性が現れて、「何個お求めですか」と確認して歩き、その数に見合った引換券を渡してくれるのである。最高でも 5 個と決められており、1 個 160 円は、かなりのお買い得である。販売は 4 時きっかりに始まるのだが、10 人を一区切りにして、少しずつ手渡される仕組みになっているのであります。

さて我らの番が近くなってきてふと遙か後方を振り返って見ると、何と何と、何と、我らが女性部長も並んでいるではありませんか。部長殿は今日は午後はちょっと人に会う用事があるとか何とか言うていたけれど、何のことはない、メロンパンの行列に加わっていたのであります。でもこのことは武士の情けで黙っていてあげよう。そのかわり、ボーナスの採点、悪くしたらバラしちゃうからな。